

2021/8/12

(オマケの英語教室 coming out) 書庫版



ここ暫くインターネットの記事で

「女優の●●さんがカミングアウトした」

といった様なキャプションの記事を何度か目にし

「カミングアウトって、何のこっちゃ？」

と不思議に思っておりました。

Coming out の元の形といえば come out でしょうから、自分の知識の中の訳語類出順から  
言えば

例えば

Flowers have come out (花が咲いた) 或いは (花が咲いている、咲き始めている)

とか

Sprouts have come out (芽が出た) 或いは (芽が出ている、出始めている)

を連想してしまったので

「女優の●●さんが花を咲かせ始めている (芽を出し始めている)」

と捉え、新人女優さんの出世話の記事なのだろうなあ、と思っていたのですが、つい最近その「カミングアウト」が何と「公表する」という意味である事をしり、且つ又その記事の主題が

これまた何と

「me too の流れでその女優さんにセクハラした相手の大御所の名前を公表するのだ」

というので二度びっくりした訳です。

「おめでたい話やのうて、いけずうな話、しょったんかあ!!」

それにしても何でこの記事を書いた日本人記者はよりによって「カミングアウト」なんていう英語を使ったのでしょうか。

「女優の●●さんが公表した」

と書けば済むのに。

50 年も前の学生の頃、一時コマーシャルや週刊誌、或いはテレビの座談会などで、日本語で済むところ、やたらと英語を使う傾向があったのですが、その折そういった傾向は散々世間から鬨聲を買い叩かれた筈なのに何で又 50 年も経った今「亡霊のように不必要な無理矢理英語使用」が出てきたのか？

もしこの英単語 come out を最初に「公表する」と覚えてしまった若い人は、ひょっとすると

Flowers have come out

を見て

「花が公表している」

と和訳し、突っ込み好きな友達は

「花もセクハラされてる、らしいでえ」

と言うかもしれません。

それはそれで展開としては面白いのですが、自分のようなロマンティストのじいさんから見ると、なんともはや殺伐としてしか見えないのですが…